



桜ヶ丘

学校だより 水沢小学校
十日町市馬場丁1641
TEL 025-758-2014

命の学習 1 避難訓練を実施しました

18日（月）の2限に避難訓練（火災想定）を行いました。

降積雪期は、グラウンドへの避難ができないため、給食センター駐車場を1次避難場所に決めています。さらに避難が必要な場合は、水沢公民館駐車場に2次避難する計画になっています。

「避難開始」の合図から、「全員避難完了」の報告まで、6分10秒かかりました。

今回は、「玄関で外履きに履き替える」という約束で実施したこと、児童玄関前に凍ってすべりやすい部分があり、外に出てからも転ばないようにゆっくり行動する必要があったことなどを考えれば、合格点だと思います。

訓練が終わってから、放送で、次のような話をしました。



給食センター駐車場に避難完了

今日、避難にかかった時間は6分10秒でした。避難してきた皆さんの様子は、落ち着いていて私語もなく、とても上手に避難できていたと思います。

いつも、命の学習は100点満点が合格点であると話しています。このあと、各教室で「静かに放送を聞くことができたか」「『おはしも』の約束を守ったか」「避難の仕方を考え安全に避難できたか」「指示に従い素早く整列したか」について自己評価します。全員が合格できるとよいと思います。

いざというときは、落ち着くこと、静かにして正しい情報を得ることが大切です。火事ならば火元はどこかつかみ、遠ざかること、地震なら、まず身を守り、揺れが収まったら避難する。津波の心配はないか、あるとすればどこに避難れば安全かなどを考えることが大切です。

火事や地震を始めとする災害等は、学校にいるときに起こるとは限りません。出かけた先で起きたり、自分が一人にいる時に起きたりするかも知れません。そんなときに備えて訓練をするのです。自分の命を自分で守る力を身に付けましょう。



命の学習 2 性に関する指導



14日（木）水沢中学校ランチルームで、水沢小学校、馬場小学校の6年生を対象とした「性に関する指導」を行いました。

この学習は毎年行っているもので、講師は高木医院の仲 栄美子先生、お話のタイトルは、「6年生におくる言葉」です。

スクリーンに右のような漢字を映し出すと、仲先生は、「性とは、心と命のことです。」とお話を始められました。そして、繰り返し「あなたの命は一つしかなく、あなたの命にかわるものはこの世に一つもないのよ」と子どもたちに語りかけてくださいました。

心 = 性 = 生命

第二次性徴についても、非常に分かりやすく、具体的に話してくださいました。

お話をお聞きした後、子どもたちが書いた感想やお礼の言葉の中に、「自分の命を大切にしていこうと思いました」という文が非常に多くあり、子どもたちの心に響いたことがよく分かります。

後半は、6年生の保護者の皆さんを対象に、子どもたちに話した内容や、親として子どもの性にどのように関わっていけばよいのかなどについて話してくださいました。

スキー学習が始まりました



大雪も大変なことばかりではありません。昨年度は、少雪のためほとんどできなかったクロスカントリースキーの学習も、今年度は十分な雪に恵まれ心配は要りません。

子どもたちは、少しでも早くスキーがしたくて、休み時間から準備万端。低中学年にとっては、持つのもやっとのスキーを抱え、にこにこ顔でグラウンドに出て行きます。昨年度のブランクを感じさせない動きで、グラウンドを周回する姿は、さすが十日町の子どもたちです。

激しい運動のため、汗の始末等が必要です。お子さんの学年のスキー授業の日ををご確認いただき、着替えやタオルなどを持たせていただければと思います。



どんどん滑る子どもたち